

淡紅

だより No. 39

2013年4月号

宝塚市議会議員

おおしまと き こ
大島淡紅子

会派控室

●Tel 0797-77-2117
●Fax 0797-74-1810
●E-mail
goiken@tgikai.zaqr.s.jp

事務所

〒665-0816
宝塚市平井 1-6-14
●Tel & Fax
0797-89-4090
●HP
http://ayumukai.jp/
●E-mail
o-ayumukai
@poem.ocn.ne.jp

☆月～金 10:00～15:00
但し、不在のこともございますので、お電話をさせていただいてからお越しください。
☆事務所のコピー機・印刷機（新機種入りしました）ご利用ください。（有料）
☆事務所をグループ・サークル等の活動にご利用ください。（無料）
《使用日時は電話でお問い合わせください。》
☆事務所に教育・平和・食の安全等の本があります。お気軽にご覧ください。

朝の連ドラ「純と愛」のメッセージは凄い。そそっかしく周囲から孤立しがちな熱血漢（？）のヒロイン純に、「あなたはそのままでもいいんだ」と言い続ける愛（いとし）。だから、純は体当たりで何とか困難をかわす。愛は何でもできるスーパー主夫で、純と支え合いながら生きていく。人気脚本家・遊川和彦ならではの急展開ストーリーなので、若い人も観ています。

現代社会は苛烈。ある時、心がポツキリ折れてしまった人を何人も知っている。このドラマの舞台・大阪のオキナワの大正区や宮古島みたいな、みんなを笑顔にする「魔法の国」



平井山荘女性のつどいの雛祭り。
日本文化の豊かさを感じるひととき

が、宝塚だと言え環境整備こそ「政治」みなさんのお知恵と力を拝借し、ご一緒に実現しましょう！

議会議案報告 1 主な議案・請願・陳情の審議



産業建設常任委員会

今号は常任委員会の結果をお知らせします。本会議でも大きく変わることは、ないでしょう。地域の自主性及び自立性を高めるため2次地方分権一括法が施行されたことで、今議会では市条例の一部を改正しようとする議案が数多く出ました。

☆第1次・第2次地方分権一括法
地方自治体の自主性の強化・自由度拡大のため、義務付けや枠の見直し、自治体への権限移譲を行う。2011年に改正された法律。

・平成24年度宝塚市一般会計補正予算
↓全会一致認定
：691億2千211万6千円とする。主なものは、荒地西山線整備、小・中学校の耐震化、通学路安全対策、長尾幼稚園園舎新築など
・平成25年度宝塚市水道事業会計予算
↓全会一致認定
：料金業務包括委託（お客さまセンタ―運営委託）により委託料6千5百万円増、人員削減額は3千4百万円。これから大きく人員削減していく。また今後浄水場の統廃合が進むが、県・阪神水道に頼り過ぎはどうか。庁舎をNTN跡地で建て替えるも時期・場所は未定。メーター取替えは市内業者で継続
・平成25年度宝塚市下水道事業会計予算
↓全会一致認定
：一般会計補助金8億1千万円受けても2億円赤字。しかし、管の耐用年数40年、併せて耐震化も必要。しかし、値上げはあらゆる努力をした上で、

市民に説明する必要がある。安易な値上げは許さない
・平成24年度宝塚市特別会計宝塚すみれ墓苑事業費補正予算↓全員一致可決
：23億6千138万4千円とする。見込みを上回ったものの、10月以降、貸し出しが伸びない。豊中・吹田市広報に掲載依頼中
・宝塚市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について↓全員一致可決
：市立病院にリウマチ科を設置し、リウマチ、膠原病など、免疫疾患に対応する
・宝塚市立スポーツセンター条例の一部を改正する条例の制定について↓全員一致可決
：今年度中に、宝塚市立売布北グラウンドの供用を開始するため。野球場とテニスコート
・工事請負契約（市立長尾幼稚園園舎新築（建築）工事）の締結について↓

全員一致可決

：市立長尾幼稚園の園舎の老朽化と、就園希望者の増加による保育室の不足に対応するため

・宝塚市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について↓全員一致可決

：新型インフルエンザ等対策本部の組織及び運営に関する条例を制定

・宝塚市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について↓全員一致可決

：第2次地方分権一括法により条例改正。また、安倉西2丁目公園を新設。5㎡の小さな公園が点在しても機能が果たせるか

・公の施設（宝塚市営住宅）の指定管理者の指定について↓可決^{区共産}

：12月議会で承認が得られなかったため、4月1日から1年間、非公募で日本管財（株）に。今回の選定委員会では入居サービス・本社のバックアップ体制を充実する提案を受けて選定。市直営時より住民の満足度は上がっている

・宝塚市教育委員会の委員選任（※）につき同意を求めることについて

：この議案は、まだ委員会も開かれていないので、お知らせだけ。委員長の田辺眞人先生、委員長職務代行の脇舛

訣子先生が退任されるので、元・朝日新聞論説委員の川名紀美さん、36歳弁護士の柴崎有希子さんに

☆市教育委員会の委員選任について

市区町村には、教育委員会、選挙管理委員会、人事委員会ないし公平委員会、農業委員会、固定資産評価委員会、監査委員が設置されている。うち、教育・公平・固定資産・監査委員は議会の同意が必要。特に教育長は、全国でも市長と議会との関係や候補者の思想などで、不同意となることが多々ある。宝塚でも、渡部市長時代に継続となり、3ヶ月代行期間が生じたこともある。

・藤本誠議員に対する再度の議員辞職勧告決議について↓全員一致可決

：議会の総意として、再度決議しました。残念ながら、拘束力はない

・長尾幼稚園の安全確保と地域に根ざした幼稚園となることを求める請願↓全員一致一部採択

：代表紹介議員となりました。委員会では現地視察も行い、勾配のあるカーブに出入り口があるなど、安全性に問題があると委員には通認識があり。しかし建設地・設計を大きく変更することとは難しく、安全対策を地域住民や関

係者と充分に協議し進める、項目の一部採択となった

・工事請負契約（市立長尾幼稚園園舎新築（建築）工事）の締結について↓全員一致可決

：工事中の安全対策、保育室の数、地域の子育て支援への配慮、防犯、EV設置などの確認

・人権感覚とモラル欠如の議員に対し厳正なる対応を求める請願↓全員一致一部採択

：佐藤議員の一連の行動や態度を見るに、国籍や出自を理由として結婚を前提とした交際を解消しており、また結婚を前提とした交際を解消する過程において相手の女性の人権を踏みにじった態度をとり続けたことは、公職にある市議としてあるまじき行為。裁判記録には、多田委員や大川議員が作成したメールを女性に送っていたとあり、猛省を求めるもの。多田委員は除外対象だが発言を許可、佐藤・大川議員からは説明を聞いた。会派の関与は決定的証拠に欠けると、項目の一部採択となった。



宝塚市人権教育及び人権啓発基本方針ダイジェスト版ハンドブック



私はこの請願も代表紹介議員となりましたが、女性として議員として許してはならない事案と考えている

・佐藤基裕議員に対する議員辞職勧告決議

：最終本会議で採決されるが、多数決で可決の見通し（詳細は次ページに）

2. 予算特別委員会

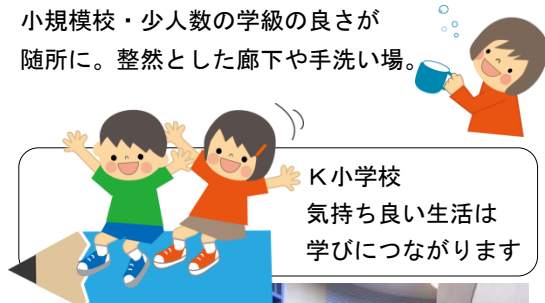
2013年度の一般会計予算は、4月に市長選挙が実施されることから、義務的経費・経常的経費・継続的に取り組んでいる事業や市民生活に密着した事業など、停滞が許されない経費（つまり「骨格予算」）と、次の事業は精査の上、計上した。

- ① 法令等により実施が定められている事業
- ② 近隣都市連携等による事業
- ③ 実施計画対象事業で、継続執行が必要な事業
- ④ 国県等の補助採択事業
- ⑤ 市民生活の安全・安心の確保や市有財産の有効活用の観点から、年度初期に着手が必要な事業

へ特別会計及び企業会計は、通常予算委員会では、自民・太誠・寺本委員から付帯決議をとの声もあったが、内



小規模校・少人数の学級の良さが
随所に。整然とした廊下や手洗い場。



女子トイレの中。
ジェンダーに配慮。
清潔と小花の心遣い。



佐藤基裕議員に対する議員辞職勧告決議（案）

佐藤基裕議員は、相手方の祖父が在日韓国人であることを理由に婚約を解消したとして訴訟になっており、今議会において「人権感覚とモラル欠如の議員に対し厳正な対応を求める請願」が提出され、本日の本会議において、佐藤基裕議員の議員辞職を求める項目が採択された。

基本的人権の尊重は、日本国憲法が掲げる基本理念のひとつであり、誰も侵すことのできない永久の権利である。また、本市は平成8年3月に「人権尊重都市宣言」を行い、『人が人として互いに尊びあい、すべての人びとの人権が保障され、明るく住みよい社会』を築き上げることをめざしている。

人権は市民一人ひとりの不断的努力により守り、築き上げていくものであるが、とりわけ市議会議員をはじめとした公職にある者は、それを率先して推進していく使命と高い倫理観を求められていると考える。

しかるに、今回の案件にかかる佐藤基裕議員の一連の行動や態度を見るに、一方的な思い込みにより国籍や出自を理由として結婚を前提とした交際を解消しており、このことは不当な人権侵害にあたるとともに、結婚を前提とした交際を解消する過程において相手の女性の人権を踏みにじった態度をとり続けることによって女性に多大なる精神的苦痛を与えており、はなはだ遺憾である。

このような佐藤基裕議員の態度や行動は、明らかに市議会議員としての資質を欠くと言わざるを得ない。

よって、本市議会は、佐藤基裕議員が今回の事態の重大さを真摯に受け止め、ただちに市議会議員を辞職されることを勧告する。

以上、決議する。

平成25年（2013年）3月19日
宝塚市議会

容的には同意できなかったので反対、採決となった。

一般会計↓可決 反伊藤・山本
後期高齢者事業予算↓可決 反共産
他は異議なし可決

■一般会計は711億円（前年度の40億8千万円増、前年度比6・1%増）

歳入予算：地方交付税等は減だが、市税、地方消費税交付金、国庫支出金、県支出金、繰入金、市債等が増となり、全体は増

歳出予算：教育費、公債費等は減だが、総務費、民生費、衛生費、消防費、諸支出金等が増となり、全体は増

■特別会計は16会計で、451億3千438万4千円（前年度の2千155万3千円減）

国民健康保険事業費、介護保険事業費、後期高齢者医療事業費等は増だが、公共用地先行取得事業費、宝塚すみれ墓苑事業費等が減となったので

■企業会計は3会計で、276億1千197万円（前年度の7億3千777万5千円増、前年度比2・7%増）

・水道事業会計は、69億718万3千円（前年度の7億7千633万2千円増、前年度比12・7%増）

・病院事業会計は、133億8千313万9千円（3億5千24万3千円増、

前年度比2・7%増）

・下水道事業会計は、73億2千164万8千円（前年度の3億8千880万円減、前年度比5・0%減）

■全会計では1千438億4千635万4千円（前年度の47億9千622万2千円増、前年度比3・4%増）

その他の質疑から

＊空家（廃屋）対策事業：今回初調査
＊わかくさ湯：廃止でなく再開に向け休止

＊自死遺族相談事業：NPOに委託月2回実施。PRを

＊3中学での売電：2013年度利益約8百万円。エネ再生のモデルケースと位置付け

＊子宮頸がんワクチン接種率：54・4%と阪神間で低い。啓発を

＊来年は市政60周年、歌劇百周年：歌劇支援事業を阪急と協議中

＊通学路緊急安全点検：82箇所、他は経常予算で

＊小学校プール開放事業：プール内の安全管理を業者委託

＊学校区のあり方：今年度まとめ

＊国保滞納者への短期証発行は接触が目的：うち1月3日から電話相談

＊子どもの人権擁護（いじめ・体罰）事業：専門家を設置



子どもに寄り添う

講演会
に
参加

川西子どもオンブズパーソン前代表

現在、滋賀県いじめ対策研究チーム委員の桜井智恵子教授講演
「いじめ自殺をどう防ぐか」

今、子どもたちに最も必要なのは「居るボラ（居るだけでいいボランティア）」。「あなたはあなたでいい」と言ってくれる人が居なくなった社会になってしまった。

最終的にめざすべきは学校現場が子どもの話を聴くこと。こうした工夫が教職員の評価となるような環境整備で、学校は変われるという。

それが新政権では、いじめ行為をより積極的に掘り起し、厳しく対処し取り締まる姿勢、「厳罰化」に向かっていることを先生は危惧される。

全国の現場に入られるだけに、本当の姿の報告も。学テの全国小・中トップの秋田県では、1週間前から模擬試験。日曜に教師向けテク講習。子どもの4割が疲労し、高校生の引きこもりが非常に多いとのこと。

「平成22年中における自殺の概要資料 - 警察庁」では、19歳までの自死の原因は、「うつ・孤独感」28%、「入試・進路・学業」20%、「交友関係・いじめ」5%、勤務問題5%、「教師との関係」1%。この数字から見れば、病気・進路によるものが半数で、いじめによる自死は稀だ。

研究会
に
参加

大塚美和子 SSW/SV 島谷恵子支援コーディネーター

「子どもの生活課題にどう向き合うか」

～学校教育とスクールソーシャルワークの相互作用～

宝塚市教育委員会は、スクールソーシャルワーカー(SSW)を派遣型でなく、拠点校に配置している。同時に、指導的役割を担うスーパーバイザー(SV)を1名配置する。これは大阪府にならい、効果的である。SSWは子どもを取り巻く環境を分析し、ケース会議で関係者が生活課題を共有し、解決に向けて動く。子どもや親が自分の力で困難を乗り越えていく、このことで子ども・親が元気になるだけでなく、行き詰まり自信を失くした教師たちが元気になっていくのだ。

参加して
考えた
こと



間違いなく、子どもを取り巻く環境は悪化している。終わりが見えなくても、子どもたちにきちんと寄り添い、一つずつ対処して行くしかない。

早期に問題を見つければ対処も有効となる。本来、幼稚園・保育所から力を入れるべきなのだ。今後は、配慮してもらいたい。



早苗田の会

杉山鮎水 選

三月
◇◇(特選) 軽快のひと日雛を飾りけり
雛の夜の雛あつまりて笛太鼓
ほんのりと山里包む春の色

二月
◇◇(特選) 裸木の捨てたる後の美しき
道草の裏道が好き雪が好き
野のつくし皆背伸びして子等を待つ

恵峯綾
之子子

綾峯峯
子子子

<会員募集中>

俳句は人の心のエッセンス。

月1回大島事務所で開催される句会
に、一緒に参加しませんか。

ご連絡をお待ちしています!



SSW学会近畿地区研修会。宝塚のSSWと支援コーディネーターの報告は参加者に勇気を与えた

カトリック教会では教皇選挙が行われ、1300年ぶりに欧米以外・アルゼンチン出身のフランシスコ1世が新ローマ法王に選ばれた。法王名は、教会の「改革」ではなく、聖堂の修復から始め、貧しい庶民の中に飛び込んで布教活動をした聖フランシスコに因んだという／政治も同じ。着実に積み上げた政策を、市民の声を聞きながら生活に反映されるよう工夫していく。修道院にこもって祈りと瞑想に終始した当時の修道会は、庶民の生活からかけ離れていった。机上の空論では意味がない。



い／2年目の3・11。1995年の阪神・淡路大震災はボランティア元年と言われた。東日本大震災も防災に想定外はあつてはならないこと、日本中が一つになつてお互いさまと助け合ふのは当然と、若いも若きも「自力」でボランティアに行く。そして、ひとたび事故が起きれば取り返しのつかない不幸を呼ぶ原発を止めよと、日本中が動いた。子連れの若い親や普通のサラリーマンも／問題も魅力もある私たちのまち宝塚。強い力でどんな改革するリーダーのもと、黙って従うのは楽なんだ。でも、それでは私の存在は「無い」に等しい。声を上げよう、手を出そう。「私たちが宝塚を造ってきた」と言える流れを止めてはならない。積み上がった宝は大きい。